

夕刊 新報

行發日十二月十
今日北の風盛
明日は北西の風後
晴

民俗座談會 (F)

竹島 國基

○「八幡様の祭に生妻を買った習慣は」
柳田「生妻は八月一日に習俗がある、生がと神様と結びつけることはあるが、八幡様とは特に関係が、あつたらば思はれない。嫁さんが里歸りをする時生が神様に上げられるのが千葉にある」

○「出征兵の戦勝祈願に百萬遍念佛を唱へるの如く」
柳田「百萬遍は悪魔を拂うためのものだから戦勝には関係ないでせう」

○「義馬を七夕といふて居るの」
柳田「我々には、言ふ事がある、言ふ事には止めて、一氣に解決してしまつたり、直ぐに收穫を期さない方がよい場合がある」

○「子安様と十九夜様との関係は」
柳田「子安様と十九夜様との関係は、

○「俳句」時吟
華生

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

○「野麥」
島田 忠夫

九夜にするのかよく解らない、かう言ふのは解説がつたなくて困る。地蔵遊び、十九夜様は結びついてゐる (終)

無題

マアコ

今宵もまた
あつた女に
バツ一本くれば開を歩
み歸り

かほりたる男である
言はれり
二十六年秋のよふけに
じつと見て
いかに變りありしか
問へば笑ひて煙草ふき
けし女

故草野慶甫先生
像成

珠雲 小野野平
葉青 多年明典
門生 使出幾賢良
銅人 新立高郎上
遺徳 千秋敬仰長

△英提督ネルソン
戦死(一)、八〇五
△司馬江漢(安)

「俳句」時吟
華生

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

「野麥」
島田 忠夫

なんのこたアねえ、油揚げ云ふ時にお傳ひをせな
女には行かれない、自分にはつとめ急がたから無理な
捕まつて獄門台に首を懸けが朝から忙しくて猫の
さねなげやならねえ、手でも欲しい位の處なんだよ
と来りや氣の毒なのはあつたか?
「申譯が御座せん」
「なる程、さう云ふやうに」
「待つてたいで、今家の神な
逢えねば、ちやア一番、あ天を出してあげるから、そ
の浪人の敵討に、たんまり、れを着てお供をして下さい
擇つてやらうぢやねえか?」
「當り前だ、ところが待つて居るお嬢さんには?
よ、ごつちみら娘に逢はば、今お仕度中です、先様か
えちや仕事も出来なはば、お嬢さんのお遊びが来れば
困つたア...。うんさう、直ぐお出掛けになりますよ、
知らねば、出入りの者に、話し込こんでゐるところ
化け込んで、それが、いへ盛装を凝らした幾代。乳
「變だわ?」
「何が御座んす」
空さばけをしなければ
二人だ、度胸のない
小悪魔だけに氣が氣ぢや
「左様で御座んす」
「お前さん達か、勘太さ
ん小六さんと云ふのは
（愈々おどろかすつた
こは心のうち、だがまた
胸まつた覺悟がなからしい
「變だわ?」
「何が御座んす」
二人の思ひは期せずして
一致したものか、互に顔を
見合せて、何事か目と目で
瞬し合せて居る様子
「お前さん達か、勘太さ
ん小六さんと云ふのは
（愈々おどろかすつた
こは心のうち、だがまた
胸まつた覺悟がなからしい
「變だわ?」
「何が御座んす」
二人の思ひは期せずして
一致したものか、互に顔を
見合せて、何事か目と目で
瞬し合せて居る様子



母に用事が出来たと見へ
「乳母や、乳母は居ないか
と、離れから顔を出して
呼ぶ、その時、ちらりと見
ると、小六と勘太の顔、同時に
びしりと視を締めた

「危なせ」
「大丈夫だ、ついて来な
へ?」
「乳母や、乳母は居ないか
と、離れから顔を出して
呼ぶ、その時、ちらりと見
ると、小六と勘太の顔、同時に
びしりと視を締めた

呼ばれたおこまは、二人
を放り切つて小走りに離座
敷へ急いで行つた
暫らしてから、不思議
と動木に近づいて来る
（さては、追ひ出しかる
浪人だよ」

「危なせ」
「大丈夫だ、ついて来な
へ?」
「乳母や、乳母は居ないか
と、離れから顔を出して
呼ぶ、その時、ちらりと見
ると、小六と勘太の顔、同時に
びしりと視を締めた

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
鈴木 正男
平市田町(電話五八番)
藤田女學校前

内科 鈴木 喜政
日本齒科 鈴木 喜政
内村村高坂醫院前

高島屋の洋服

新柄背廣
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

磐城の御みやげ品

靈峰羊羹 金十錢
柿羊羹、のり羊羹。
沼ノ内辨天羊羹。
御座のお出入には好個のお土産品です。
小買御希求の方お申下さい。
小川 郷 謹啓
製造員 平屋賣店

郡山脳病院

郡山市外大槻村針生
電話九二五番
院長 金 森 五 郎

福好工業合資會社

自動車部
電話二八二番

お醤油は...

山崎合名會社
電話二七〇番

高久病院

内科 高久 清忠
外科 高久 清忠
電話五三番

産科醫學博士

婦人科 五十嵐雄二
電話三六九番

石綿ムシカマド

實用新案
第一八七三〇號
電話六六一七號

近江屋

漆器、確イ店
電話七二一番

木村外科醫院

電話三〇九

木村外科醫院

電話三〇九

